

こんにちは！お元気ですか。

マツサカエンジニアリング 18号を送ります！お楽しみください！

（※お電話頂いた時は・・・お電話有難うございます。

メック（英文名：Matsusaka Engineering Co.,Ltd の頭文字で MEC）です！と応答しますので
宜しくをお願いします）

—★ News Topics ★—

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| [1. MEC 商品情報] | 連続運転可能、1吋モーターポンプ（QP-M1） |
| [2. MEC 商品情報] | QP 大型ポンプ（QP-60TD）の変遷とは・・・ |
| [3. MEC 出張情報] | 供給者訪問に行ってきました！ |
| [4. MEC 四方山話] | MEC 工場見学ツアー・・・！？ |
| [5. MEC 海外情報] | 日本から 8,000km 離れた場所での奇跡の出会い |
| [6. MEC 四方山話] | QP ポンプの地元高校、相可高校での循環型農業 とは！ |
| [7. MEC 訳有製品] | 訳有製品 誕生までのプロセス |
| [8. MEC 四方山話] | 2019 年 社員旅行 |
-

☆☆—————☆☆

TOP NEWS 当社おすすめ商品・イチ押し商品をピックアップ

—————☆☆

< 1吋モーターポンプ/QP-M1 のセールスポイント！ >

弊社の製品に 1吋のモーター直結ポンプ「QP-M1」があるのをご存知ですか？

実は現在国内でこの手の 1吋モーター直結ポンプを生産しているのは弊社と K 社の僅か 2 社だけなのです。

MEC の直結モーターポンプは、初代の QP-SM102 より 30 年の歴史があり、そのノウハウを集めたのがご紹介する 2 代目「QP-M1」です。

QP-M1 の主な特徴（セールスポイント）は、次の通りです。

- ①最大揚程 45 メートル、最大水量 120 ㍓/分の仕様によりスプリンクラー、灌水チューブを使用した高圧散水に最適です。
- ②小型コンパクトで設置場所も選ばず、本体重量 13 kg と軽量の為に移動も楽です。
- ③100V の家庭用電源を使用する為、特別な設備工事が不要です。（QP-M1 は、PSE/電気用品安全法に適合しています）
- ④モーターの出力を低下させずに連続で運転することが可能です。（連続定格）

⑤初代「QP-M1」でご要望のあった吐出ネジの仕様（全ネジに変更）、モーターへの水の巻き込み防止対策を施しました。

農業ハウスでの灌水やスプリンクラー散水、家庭菜園や庭の散水、農機具やトラックの泥落とし等の作業に、女性や機械の扱いが不慣れな方でも運転時間を気にせず安全にお使いいただけます。

尚、製品の詳細は営業担当迄お問合せください！マツサカの「QP-M1」をよろしく申し上げます！！

◆イチゴ農園（三重県度会郡玉城町）に導入した写真↓

http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2019/07/M1_ichigofarm.pdf

（営業部 福澤記）

■ □ _____

MEC 大型ポンプ/QP-60TD の変遷とは・・・

_____ □ ■

<◎QP 大型ポンプの変遷と成長そして今日の貢献！>

今月に入って高気圧の発達に伴い、日本列島へ近付いた前線が活発化。前線に湿気が流れ込む7月は豪雨に強い警戒が必要と云われています。

現実に、梅雨前線が停滞しているに加え異常にながら雨も尋常でない天候が続いている事を実感中。

弊社では家庭用の小型散水ポンプ・灌漑用の吸排水ポンプはさることながら、実は大型の大容量排水ポンプシリーズの開発や販売に歴史的にも 「相当の力を注いでいる」という事を改めてアピール申し上げ、大型大容量排水ポンプの変遷と現在最も注力している最新版ポンプをご紹介します！

◆詳細はこちら↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2019/07/60TDtransition.pdf>

（営業部 和田記）



MEC 出張情報： 供給者訪問について



2月下旬 中国遼寧省大連から、2年振りの北朝鮮国境の都市丹東へ、技術部・資材管理部2名で出張しました。

今回は品質改善確認と品質打合せが大きな目的です。

丹東は2日間の滞在で、鑄造及び3次元測定機を使用した加工部品の確認を行い、大きなトラブルもなく我々の要求通りの部品が出来ている事が確認できました。

また大連は3日間の滞在中、鑄造上・加工上の問題が過去発生した為、再発防止対策の確認及び対策処置の有効性を現場で記録を含め確認し、取られている対策に問題がない事を確認しました。(その後の入荷部品にも問題は発生していません。)

今回、大連供給者総経理の話によると、中国上海等の大都市部近郊では環境規制による当局の強制的な操業停止が進んでいる中、韓国企業を中心に安定した製作可能先を求め発注企業が北上してきており、大連でも近年その動向に拍車が掛かっている様で、納期管理が非常に難しくなっているとの事でした。今後の動向を注視していく必要があると感じました。

真面目な話しはこれ位として・・・・・・・・

食事中に北朝鮮の女性グループによる歌と踊りの歓迎を受けました。彼女たちは全て大学生で、学生期間 中国に滞在し卒業後は北朝鮮に戻るようです。北朝鮮でも富裕層の方と思いますが、北朝鮮の方を身近に感じられた瞬間でした。

出張者の2人とも、中国の食事や白酒も美味しくいただけ、日本に帰りたくない思いが日々強まってきました。

でも2人とも若輩者なので、この食材だけではどうしても美味しく食べる事が出来ません・・・・・・・・

◆中国出張時の写真を少しご紹介↓

http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2019/07/china_business.trip_pdf

(資材管理部 石原記)

☆☆—————☆☆

MEC 四方山話①： MEC 多気工場見学ツアー開催

—————☆☆

5月に公益財団法人 三重県労働福祉協会主催による、若年者地域連携事業として「三重のものづくり企業魅力発見バスツアー」が開催され、来春三重県立津高等技術学校メタルクラフト科終了予定の生徒達、ご担当の先生、三重県労働福祉協会ご担当者様、計9名の工場来社がありました。

当日は弊社も含め3社を訪問される予定の中、弊社では約1時間の予定で会社概要説明と工場内見学を実施しました。

会社概要説明では、普段ポンプを目にした事のない生徒達に理解してもらえる様、ポンプ製品を会議室に持込み、この部分がエンジンで！から説明すると、生徒全員が真剣な眼差しで説明を聞かれ、その表情からもMECとは?!を理解してもらえたと思います。

工場見学では、ISO9001品質マネジメントシステムの流れに従い、入荷部材の受入検査場や部品保管場所、パイプフレーム・エンジン台の製作工場、ポンプ組立工場を見学されました。見学の最後は技術部の試験場で実際の性能試験に立ち合い、ポンプの発生する音や水を身近で体験する事で、ポンプとはどのようなものか知ってもらえたと思います。

最後の質疑応答では、生徒達のほぼ全員から質問があり、熱心な生徒さんからは何回も何回も質問を受け、純粹無垢な表情からは窺い知れない熱心さを垣間見る事ができ、逆に刺激を受ける中で、若さっていいなあ〜！と感じた程でした。

生徒達の熱心さに予定の1時間を大きくオーバーしてしまい、次のスケジュールも決まっている中で、ご担当の先生をはじめ三重県労働福祉協会ご担当者様にもご迷惑をお掛けしてしまいました。

弊社では現在、各部の人材募集を継続して実施しています。

今回の見学者の中から弊社を希望する生徒さんが一人でも多く手を挙げてもらえる事を切に希望します。

◆多気工場見学時の写真はこちら↓

http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2019/07/factory_tour.pdf

(資材管理部 石原記)

■□—————

MEC 海外情報：南半球での奇跡の出会い・・・！？

—————□■

◎南半球の感動！ここにも QP ポンプが生きていた！

QP 製品を色々な使用現場迄、届けていただいているお客様は国内40数社　そして海外は地球市場を7区分とした北米・中南米・アジア地区・大洋州地区・欧州・中東地区・アフリカ地区の中の約28ヶ国約30社の

皆様に QP 製品をご愛顧・仲介頂き、多くのユーザー様に使用して頂いております。

水のある所から揚水し、水を送りたい所に只々送水するのが「エンジンポンプの機能・役目」と考えられていますが、所謂「たかが水ポンプ」というだけではない色々な用途向けに「されどポンプ！貢献しているなあ！」という感激的な場面に出会う事が多々あります。過去のメルマガでも折に触れてご紹介致しておりますが、今回は日本から8000 km離れた豪州シドニーの片田舎のホテルの前でたまたま出会った「消防士」の方が降りてきた消防車に、ガッチリと組み込まれている「QP 高圧ポンプの QP205S/本田 GX200 搭載 三方吐出口仕様」を発見し驚愕し、それこそ「感動の行ったり来たり！」

・・・何という偶然でしょう！この広い地球のしかも南半球の片田舎で、しかも数多い消防車の中で、しかも別に日時を予約した訳でもなく、たまたま宿泊したホテルでの朝食前の出来事です。

◆奇跡の写真はこちら↓

http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2019/07/sydney_inpresstion.pdf

(営業部 和田記)

☆☆—————☆☆

MEC 四方山話②： バイオマスプラントの循環型農業について

—————☆☆

高校生レストランで有名な地元多気町の相可高校が 『世界初 高校にバイオマスプラント設置・循環型農業に挑戦し 内閣総理大臣賞を受賞しました！

http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2019/07/ohka_high.school.pdf

今迄 殆どの バイオマス発電所から排出される消化液は産業廃棄物として処分されています。相可高校には 食物調理科というプロの料理人を育成する学科があり そこから毎日生ごみや食品廃棄物が沢山出せれているので そこで農場にバイオマスプラントを設置することにより生ごみなどの食品

残さいを 再利用し バイオマス発電から出る消化液を使つての栽培・収量の増加など食との連携・循環型農業に相可高校 生産経済科の女学生が取組ました。

◆循環型農業とは？・残さいの流れとは・・・↓

http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2019/07/food_debris.pdf

バイオマスプラントは秋田大学で既に十分に調査・研究が終了し解体予定の設備を譲り受け学校の農場に設置する計画としましたが 設置する費用を地元の会社に支援を呼びかけ 弊社もその話に感銘し協力させて頂きました。

消化液を利用したの 空芯菜・ベビーリーフなどの作物の育成実験等では 収益においても よい結果が出ております。

◆収支例はこちら↓

http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2019/07/balance_comparison.pdf

食品残さいによる発電の恩恵だけでなく発電所からの消化液を農業利用することによって栽培した作物がまちの飲食店や家庭で食される。

これは資源の量を少なくすることや産業廃棄物の発生も少なくするレデュース (Reduce)につながり また食品の残さいを肥料に食品を生産する事の繰り返しによりリユース (Reuse)にもつながり さらにバイオマス発電としてだけでなく 液肥として有効利用するリサイクル (Recycle)にもつながる取組です。

今回受賞した総理大臣賞は この『3R への取組 継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている』事でこの活動を奨励しているものです。

この高校生の活動にこれからも応援して行きたいと思います!!

◆経済産業省ホームページに掲載された詳しい記事はこちら↓

<https://www.meti.go.jp/press/2018/10/20181026006/20181026006-1.pdf>

(総務経理部 福沢記)



MEC 訳有製品、ご存知でしょうか！



<QP 三重多気工場で誕生する「QP 訳有製品」 もったいない製品の生まれるプロセスについて！>

3～4年前より「弊社技術部が定期的な製品抜き取り検査で試験機として1・2時間の運転で性能や仕様諸元を確認した「殆ど新品同様の中古製品」を WebSite でご紹介し皆様に有効に活用していただく目的で出来るだけ安価で提供のご案内を申しあげております。

この数年間で多くの皆様からお問い合わせや、ご購入いただき又、「リピーターになられたり、新製品のその地域のモニターになっていただいたり使用者の皆様にご様に直接に製品評価を頂くなど、WebSite のショップコーナーが効果的に使われはじめているなどという印象があります。

主なる WebSite ショップラインで販売した例をご覧ください。

メーカーとしての新たな製品改善や面白アイデア製品の開発などに繋がれば面白いと思っております。

◆詳細はこちら↓

http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2019/07/wakeari_history.pdf

(営業部 和田記)

☆☆—————☆☆

MEC 四方山話③： 2019年社員旅行 in 福井

—————☆☆

毎年 恒例行事として、6月末に社員研修を兼ねて社員旅行に行って参りました。

今年の目的地は「越前カニ」で有名な福井県。

出発当日、朝 7 時と早めの集合だったにも関わらず、ほとんどの社員が集合時間よりも早く集まり、定刻時間には無事出発。

目的地までの移動時間は約 5 時間とかなりの長距離移動でしたが、バス内でのチーム対抗 面白クイズを幹事が色々と用意しており、初日からチームワーク力全開！ 社員旅行の楽しみの一つです。

福井県の天気は、大雨予想でしたが、到着してみると 雨が上がり ちょうどいい？曇り空。

涼しい風の中で、雨天中止予定であったスケジュールの【アーチェリーとグランドゴルフ】を予定通り行う事が出来ました。

夜はあわら温泉で日頃の疲れを癒し、豪華な宴会料理 一人一杯の越前カニを堪能しました。
翌日の天気はちょっと崩れ気味でしたが、予定通り 国の天然記念館「東尋坊」へ訪問し、全体写真をパチリ。

帰りのバスの中では、旅行中の面白出来事を語り合いながらあっという間に三重工場に到着。
社員旅行は日頃の疲れに癒されるだけではなく、社員同士のコミュニケーションも密になったのではないかと思います。

下期も目標に向かって頑張ります！

◆写真を少しご紹介↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2019/07/company-trip.pdf>

(営業部 キョウ記)

では、今日はここまで！！

最後までお付き合いいただき、誠に有難うございました。
また、次回も宜しく願い申し上げます。



○メール配信停止をご希望の方はこちらまでご連絡ください。

hasegawa@qp-pump.com

○配信元：株式会社マツサカエンジニアリング

<http://www.qp-pump.com/>

東京本社

東京都千代田区神田松永町 23番

TEL：03-3257-6130

FAX：03-3257-6129

工場

三重県多気郡多気町野中 2 1 5 5

TEL : 0598-39-3211

FAX : 0598-39-3844

発行/株マツサカエンジニアリング 営業部

